

会社の概要

(2021年3月31日現在)

会社概要		
商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)	
設立	1947年3月31日	
資本金	19,817,453,638円	
	〒141-8510	
本店所在地	東京都品川区西五反田二丁目11番8号 TEL. 03-6431-1001(代表)	
ホームページURL	https://ghd.gakken.co.jp/	

取締役・監査役・執行役員 (2021年4月1日現在)

地 位	氏 名	地 位	氏 名
代表取締役社長	宮原 博昭	常 勤 監 査 役	景山 美昭
常 務 取 締 役	福住 一彦	常 勤 監 査 役	中村 雅夫
常 務 取 締 役	碓 秀行	社 外 監 査 役	山田 敏章
常 務 取 締 役	小早川 仁	社 外 監 査 役	長 英一郎
取 締 役	安達 快伸	上 席 執 行 役 員	勝野 哲也
取 締 役	影山 博之	執 行 役 員	小林 徹
取 締 役	五郎丸 徹	執 行 役 員	田中 薫
取 締 役	百田 顕児	執 行 役 員	川端 篤
取 締 役	山本 教雄	執 行 役 員	渡辺 悟
社 外 取 締 役	山田 徳昭	執 行 役 員	福田 晃仁
社 外 取 締 役	城戸真亜子	執 行 役 員	細谷 仁詩
社 外 取 締 役	伊能美和子		

執行役員選任理由

福田 晃仁氏
福田晃仁氏は、取締役会で決定した戦略に基づき、当社グループのマーケティング戦略の執行責任者としての役割を果たすため、執行役員に選任いたしました。

細谷 仁詩氏
細谷仁詩氏は、取締役会で決定した戦略に基づき、当社グループのコーポレート戦略の執行責任者としての役割を果たすため、執行役員に選任いたしました。

Gakken 学研ホールディングス

株主メモ

事業年度	毎年10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://ghd.gakken.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式についてのお問い合わせ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部

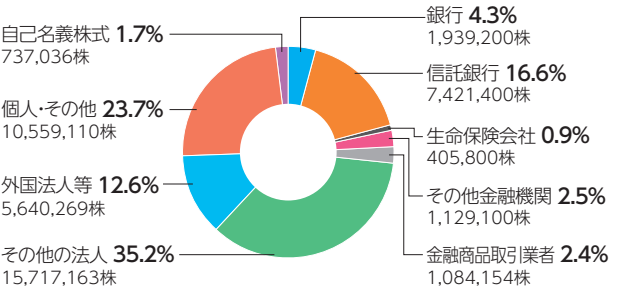
0120-232-711

オペレータ対応 受付時間 平日のみ／午前9:00～午後5:00

株式の状況

発行可能株式総数	159,665,600株
発行済株式の総数	44,633,232株
株主数	19,332名

所有者別株式分布状況



学研G・学研HD本社ビル等



健康経営優良法人
Health and productivity



株主通信 Gakken Value Report

第76期 中間報告書 2020年10月1日～2021年3月31日

Gakken



第57回全国児童才能開発コンテスト 図画部門 低学年の部 文部科学大臣賞 作品
【題名】牛の仲間たち 鹿児島県鹿児島市 和田小学校 3年 山下 夏橘さん

全国児童才能開発コンテスト

昭和38年に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。

株式会社学研ホールディングス



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第76期中間報告書(2020年10月1日～2021年3月31日)をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高780億7,700万円(前年同期比3.0%増)、営業利益49億7,000万円(前年同期より6億7,700万円増)、経常利益48億2,600万円(前年同期より5億7,500万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益23億4,400万円(前年同期より3,300万円減)となりました。

当期は、「揺るぎない成長基盤の確立」をスローガンとした3か年計画「Gakken2023」のスタートの年となります。「Gakken2023」は、コロナ禍あるいはその後の新常态への適応を前提とし、中長期的な視座を持った成長投資を伴う3か年計画としました。

なお、当期は1株当たり1円増配し、11円の間配当を実施いたします。

引き続き安定的、持続的な配当を目標としてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

宮原 博昭

グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供
します

グループビジョン

想像の先を、創造する



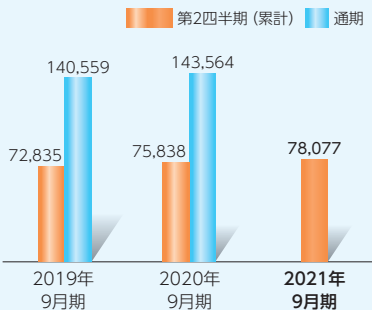
行動指針

人のため、社会のために
まなび続ける
情熱とスピード感を持つ
個の力を集団の強さに
現状に満足しない

財務ハイライト

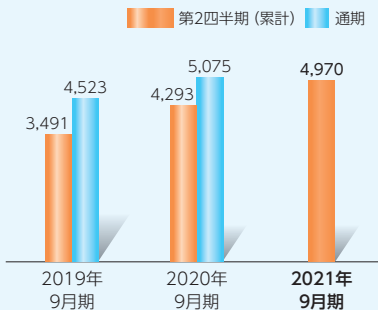
売上高

(単位：百万円)



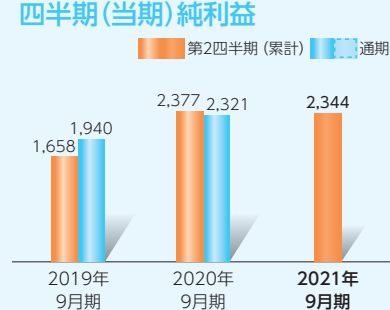
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



教育分野

教室・塾事業

(学研教室、進学塾など)

強力に学習をサポートするアプリ
「マナミル」をリリース(学研メソッド)



売上高

15,673百万円
(前年同期比4.8%増)

営業利益

485百万円(前年同期比115百万円増)

- + 教室事業 小学館アカデミーを事業譲受したこと等により増収増益
- + 塾事業 生徒数全体は減少するも一部の塾伸長、コスト削減により減収増益

出版コンテンツ事業

(出版、電子出版、雑貨など)

シリーズ累計120万部突破
最新「水中最強王図鑑」が爆発的ヒット!



売上高

17,758百万円
(前年同期比2.5%減)

営業利益

2,317百万円(前年同期比804百万円増)

- + 出版 メディア事業分割、前期の学習参考書集ごもり特需減により減収、利益は前年並
- + 医学書 看護師向けeラーニング契約病院数の伸長により増収増益
- + 出版外 不採算商品の整理、英語事業伸長により増収増益

園・学校事業

(幼稚園・保育園用品、
学校用品など)

コロナ対策衛生用品の
受注増



売上高

9,608百万円
(前年同期比7.5%減)

営業利益

1,206百万円(前年同期比50百万円増)

- + 幼児教育 園舎設計、大型遊具、先生向け衣類、コロナ対策衛生用品好調により増益
- 学校教育 中学校教科書教師用指導書採択部数が前期小学校比減などにより減収減益
- + 社会教育 商品サービスのデジタル化等による原価抑制で増益

医療福祉分野

(サービス付高齢者向け住宅、グループホーム、
保育所など)

補助金を活用、採用ブランド
ムービー「介護士は恩返しを
する」を制作(MCS)



売上高

32,106百万円
(前年同期比8.3%増)

営業利益

1,285百万円(前年同期比30百万円増)

- + サ高住 介護保険サービスの利用が増加し増収
- + グループホーム 高水準の入居率の維持、不動産売却の実施も寄与し、増収増益
- 子育て支援 新園準備費用および新規採用費の増加、コロナ対策費用の発生により増収減益

その他

(物流、グローバル事業など)

物流事業が好調



売上高

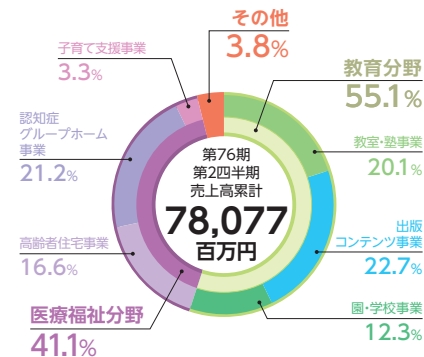
2,930百万円
(前年同期比10.8%増)

営業利益

△168百万円(前年同期比360百万円減)

- DX推進に伴うシステムおよび人材投資を行ったことにより、減益

売上高構成比



当期より報告セグメントを、教育分野、医療福祉分野、その他の3セグメント構成に変更し、前年度との比較は変更後の構成に基づいております。



教室・塾事業

小学館アカデミーの名称が学研スクエアへ

昨年の4月に事業譲受した小学館アカデミーが、この4月から学研スクエアとして再スタートを切ることになりました。ショッピングセンターでの教室展開を拡大し、幼児教育事業の充実を進めてまいります。

学研ブランドを掲げることで、英語コース、算数国語コースだけでなく、プログラミング、ペティパ、中学生G-PAPILSなど教室で実施しているコースを多角的に展開してまいります。(学研エデュケーショナル)

JPホールディングス提携記念 学研教室の学習体験会を61園で実施

JPホールディングスが全国に展開する保育園に、近隣の学研教室指導者が赴き、「小学校学習体験会」を開催しました。この春、入学を迎えた年長児さんたちが、指導者のリードで算数や国語の基礎を楽しく体験。学研教室の専用教材を使用することで、無理なく学習に取り組みました。今後も質の高い保育・教育を目指し、園と学研教室の交流やコンテンツ提供に力を入れてまいります。

(学研エデュケーショナル)



オンライン学習塾『Gakken ON AIR』スタート

オンライン学習塾『Gakken ON AIR』を、2021年4月6日にプレオープン、5月11日に本開校しました。

学研塾グループの精鋭講師陣が「楽しく分かりやすい」はもちろん、「本当の学力が身につく」授業をオンラインで提供するサービスです。中学生を対象に「ライブ」「双方向」「集団一斉指導」にこだわり、緊張感を持って熱意の伝わる授業を展開いたします。(学研メソッド)

出版コンテンツ事業

英語版幼児ワークが米国で金賞受賞

幼児向けワークブック「Play Smart」シリーズが、米国で「The Mom's Choice Awards®」の金賞を受賞しました。「学ぶ意欲を育てる」というコンセプトが、海外の保護者や教育関係者などからも高く評価されています。SDGsにある「質の高い教育をみんなに」を体現するべく、これからも楽しい学びを世界中の子どもたちに届けてまいります。(学研プラス)



幼児ワーク「まるごとこれ1冊できるかな」



安定した売上げで他社も多く参入してきた、幼児ドリル分野。商品の多さに「どれを買ったらいいのかわからない」という悩みに応え、もじ、かず、ちえ、とけい、めいろ…などがちょっとずつ楽しめるお得な1冊にまとめました。本書をきっかけに「学研の幼児ワーク」シリーズのファンになっていただく狙いも。

ぱっと目を引く蛍光オレンジと、キラキラ加工でお子さんの心をわしづかみ。うれしい特典もついていて、よくばりに楽しめると大好評です。(学研プラス)

『きめる！共通テストシリーズ』改訂で伸長

高校生向け参考書『きめる！共通テスト』13点を2020年6月に改訂しました。

長きにわたって実施されたセンター試験が幕を閉じ、共通テスト実施元年となった2021年1月。各社がシリーズを改訂するなか、DXも絡めた「半分試し読みキャンペーン」や「著者によるスマホ解説動画」などの施策が奏功し、130%を超える伸長となりました。(学研プラス)



園・学校事業

小学校向け副読本『私たちと情報』2冊発行



GIGAスクール時代の子どもたちに向けた情報活用能力を育成するための小学生向け副読本です。

「情報活用スキル編」では、ICTや情報を活用するためのさまざまなスキルを、学習活動を通して基礎から身に付けられます。「情報社会探究編」では、巻頭マンガやスキル編参考ページを掲載。スキル編での学びを駆使してさまざまな課題を解決していくことを通じ、情報化社会を生きぬく力を育みます。

東北大学大学院教授・堀田龍也先生監修。(学研教育みらい)

新・月刊絵本「がっけん つながるえほん」創刊！

創刊70年目の大改訂として、幼稚園・保育園・こども園で読まれ



る月刊絵本の新シリーズ「がっけん つながるえほん」を4月に創刊しました。コンセプトは「つながる」「主体性」「自己肯定感」。子どもの育ちの連続性を大切に、園の一貫した幼児教育をサポートし、デジタルを利用した家庭へのフォローも充実させてまいります。(学研教育みらい)

保育者・教員向け講習会をオンライン化！



学研教育みらいが長年行ってきた保育者向け講習会が、オンライン事業として始動。また、小中学校の教員向けのオンライン講習を実施。いずれも好評を博し、今後のオンライン事業の拡充・推進のため、グループ内での連携で運営・集客方法の共有をしながら、オンラインの特性を生かした「より広い学びの機会」を提供してまいります。(学研教育みらい)

医療福祉分野

サービス付き高齢者向け住宅展開エリア拡大



76期上半期においては、10棟のサービス付き高齢者向け住宅を開設しました。福岡県や新潟県などココファン初出店のエリアもあり、展開範囲が拡大しています。

コロナ禍においてこそ、高齢者が安心して暮らすことのできる場所が必要不可欠と考え、下半期においても積極的な開設を継続します。(学研ココファン)

AI搭載型ロボット「アイオロス・ロボット」の本格導入開始

Aeolus Robotics Corporation、並びに代理店である丸文株式会社と、AI搭載型ロボット「アイオロス・ロボット」の本格導入に向け、RaaS契約を締結しました。認知症高齢者対応のグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅をはじめ、高齢者住宅施設数が日本有数の規模を誇る学研グループで、いち早く「アイオロス・ロボット」を導入することで、導入による効果検証を行うとともに、介護施設・住宅における拡張機能の検討を行います。(メディカル・ケア・サービス、学研ココファン)



中国青島市にリゾート併設型CCRC内 介護施設オープン



中国青島市に介護施設「青島融創美邸国際養老センター」を開設しました。青島市黄島区のリゾート地内にある、総面積 約7万6千㎡のCCRC内に位置しており、CCRCの敷地内には文化・娯楽センターや医療センターが設置されているため介護施設にしながら多様なサービスの利用が可能です。(メディカル・ケア・サービス)

※CCRC：米国で普及している、高齢者向けの地域共同体の名称



学研グループ DXへの取組み

学研ホールディングスは2021年1月に「デジタル戦略本部」を立ち上げました。グループ全体のDX戦略を統括、推進する役割を担っています。この戦略に沿って進められている学研グループのDXへの取組み事例をご紹介します。もちろんここに取り上げたもの以外にも、さまざまなプロジェクトが進められています。この先のさらなる拡大、発展にご期待ください。



AI搭載の個別最適化演習問題配信システム『GDLS』をリリース

(学研メソッド)



生徒ひとりひとりの実力に応じて、レベルに合った問題を配信する演習問題システム。AIを搭載し、個別最適化を実現しました。

約10万問を収録しており、文章題などを中心に

3万問には解説動画がついているので、わからない問題も先生に質問をすることなく理解できます。小学4～6年の算数と、中学1～3年の英語、数学、国語、理科、社会に対応。

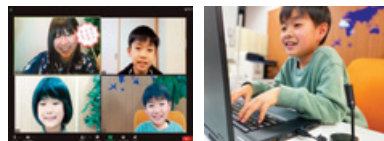


双方向型オンライン学習講座「ことばパーク」で国語力UP

(学研エデュケーションル)

小学生を対象に国語の「聞く・話す・読む」力を伸ばす双方向型オンライン学習「ことばパーク」がスタートしました。学研教室の国語発展教材や学研の出版物に繋がるオンライン題材(教材)を用いて「聞き取り」「読解」「ことば」のトレーニングに月3回取り組みます。

脳の「ワーキングメモリ」に働きかけることで集中力・記憶力・読解力も身につく新しいアプローチの学習法です。今後ニューノーマルとなる「デジタル(オンライン)で学ぶ」経験や作法も獲得できると好評です。

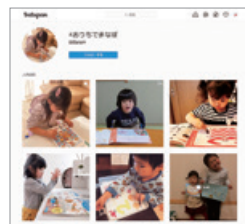


「学研の幼児ワーク」のSNSコミュニティ

(学研プラス)

昨年11月にスタートした#おうちでまなぼ SNSキャンペーンが盛り上がっています。おうち時間に『学研の幼児ワーク』を楽しんでいるお子さんの投稿をInstagramとTwitterで募集。4か月で600件を超え増え続けています。

今後もSNSを使ったユーザーコミュニケーションとコミュニティづくりを進めていきます。



保育記録のICT化スタート

(学研ココファン・ナーサリ)

保育士の負担軽減と業務の効率化を目指し、保育現場のICT化を進めています。デジタル化によって蓄積したデータを活用し、業務効率化・人材の確保・品質のさらなる向上を図ることも大きな目的です。

まずは都内の認可保育園から導入を開始し、今後は運営しているすべての子育て支援施設での運用を目指していきます。



IRメールご登録のお願い

学研ホールディングスは株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様に向けて、IR情報やPR情報をメールでお送りするIRメールサービスを提供しています。

こちらにご登録いただくと、株主優待の情報や申込みの案内、申込み忘れを防ぐリマインドメール等もお送りします。また、株主アンケートやプレゼント企画等も随時開催し、株主の皆様との対話も充実させています。この機会にぜひご登録いただき、学研グループをより身近に感じてください。



<https://ir.gakken.co.jp/ir/irmail.html>

世界を歩くナビゲータ

地球の歩き方がグループイン

旅のヒント満載のホームページもご覧ください



<https://www.arukikata.co.jp/>



2021年1月、海外旅行ガイドブック「地球の歩き方」出版事業とインバウンド事業が、新生「株式会社地球の歩き方」として学研グループに加入しました。

長年培ったガイドブックづくりの経験と各国に構築された地域密着型のネットワークを活かし、グループ内での協業やDX推進によるコンテンツ事業展開を見据えつつ、今後ビジネス展開していきます。

「地球の歩き方」とは

1979年、「ヨーロッパ」編と「アメリカ」編を創刊。その後世界各地のシリーズ本を次々に刊行し、海外旅行ガイドブックのスタンダードとしての地位を確立しました。現在では100以上の各国エリアを網羅、国内情報も特色ある切り口で広範囲にカバーしています。

地球の歩き方トピックス

「地球の歩き方 東京」ロングヒット継続中

「地球の歩き方」初の国内ガイドブックとして、2020年9月の発行以来、累計8.9万部の発行を誇る「J01東京」(2021年3月末現在)。異例の大ヒットを記録した背景としてステイホーム需要による「東京再発見」と「歩き方」らしさを全面踏襲した記事づくりが注目を集めました。ぜひ女子旅応援ガイドのarucoでも読みたいとの全国読者・書店様からのご要望にお応えすべく、7月に「aruco東京」を発行予定です。



世界を知ろう！新展開「旅の図鑑シリーズ」

自由な海外旅行がコロナ禍で制限されるなか、旅に出ずとも世界をより深くしかも気軽に知ってもらいたいとの編集部思いから生まれた「旅の図鑑シリーズ」。地球の歩き方ならではの目線で、思わず誰かに話したくなる世界の雑学が盛りだくさん。3月末現在、国、都市、指導者、奇岩とテーマも多種多様で、書店の旅行ガイド本コーナーのみならず、人文、社会、雑学の書棚でも幅広く展開いただいています。今後の続編にもご期待ください。



海外SEOを実現する多言語旅行情報メディア

訪日外国人への情報発信施策として必須の多言語旅行情報。多言語旅行情報メディア「GOOD LUCK TRIP (好運日本行)」では、日本の旅行情報をGoogle検索で上位表示する海外SEO(検索エンジン最適化)ノウハウを活かし、自治体などクライアントの情報発信をサポート。多言語公式サイト制作・運営を含むグローバル展開を見据えたコンテンツマーケティング施策では、全国で成功事例が続出しています。

